

L C A C 特別公開に海自入隊予定者が参加



特別公開

見学後、参加者は「車だけでなく戦車も輸送できるのがすごい」と興奮気味に話していた。富士所は、今後も入隊予定者の不安を解消し、安心して自衛隊に入隊できるようサポートを行っていく。

砂浜に上陸したL C A C の内部見学では、操縦席に座ったり、席によって操縦や監視など役割が分担されていること、車両を固定するフックの使い方など、L C A C の任務や装備について乗員から説明を受けた。また「乗り心地はいいですか」「L C A C の乗員を希望した理由はなんですか」などの質問が寄せられ、乗員が丁寧に回答していた。

富士地域事務所（所長・本間亮三等陸尉）は12月11日（日）、今沢海岸（沼津市）で行われた海上自衛隊L C A C 特別公開に、来年度の海上自衛隊入隊予定者を引率した。この特別公開は、自衛隊に興味のある若者や入隊予定者、保護者に海上自衛隊への理解促進や入隊前の不安解消を図ることを目的に実施されたもの。富士所からは入隊予定者とその家族4人が参加し、揚陸訓練の様子を見学した。



固定ベルトの説明

静岡模型教材協同組合に感謝状を贈呈



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・武田恭一 等空佐）は12月13日（火）、株式会社タミヤ本社（静岡市）において、静岡模型教材協同組合への感謝状贈呈を行った。これは、静岡地本に対し功労のあった団体や個人に本部長から謝意を表すもの。同協会は、例年静岡市で開催している国際的な模型の祭典「静岡ホビーショー」で会場正面に自衛隊の装備品展示や広報ブースを設けるとともに、今年度地本が初めて開催したプラモデル教室に協力する等、多岐にわたる広報活動に貢献している。当日は同組合の加盟団体である株式会社タミヤの会長、株式会社青島文化教材社の会長と社長、株式会社ハセガワの社長と取締役の5人が出席し、武田本部長が感謝状を手渡した。その後の懇談では、商業面や防衛面から見た国際情勢や自衛隊の装備品について意見を交わし、武田本部長がさらなる連携強化と広報活動への協力を依頼した。静岡地本は、今後も地域との繋がりを強化し、自衛隊の活動への理解を深めてもらえよう広報活動に邁進していく。